

# Ⅲ 若手看護職員研修会・交流会

## 1 目的

県内病院において、勤務年数5年未満の看護職員の離職が離職者のおよそ半数を占めている。このため、若手看護職員を対象とした研修会・交流会を開催し、キャリアアップについて考える機会をもつとともに、同世代の仲間との交流を深める中で、各自が日々抱えている課題への対処方法を見出し、看護職としての自覚や意欲を高めることにより、職場定着の促進を図るもの。

## 2 対象

病院に勤務する免許取得後3～5年未満の看護職員

## 3 開催状況

開催日 令和3年11月2日  
開催方法 WEB開催  
参加者 208名  
参加病院 29病院（公的19病院、民間10病院）

## 3 内容

### 【講演】

テーマ「キャリアが多様化する中でのこれからの看護職の働き方について」

座長 濟生会高岡病院 看護部長 渋谷 美保子 氏

講師 濟生会富山病院 看護師 笹伊 勇太 氏  
黒部市民病院 主查看護師 大嶋 まどか 氏  
厚生連高岡病院 認知症看護認定看護師 山本 亜希子 氏

#### 4 アンケート結果（一部抜粋）

回収率100.0%（回収数208名／参加者数208名）

(1) 今後、仕事を続けていくうえで不安等を感じるか

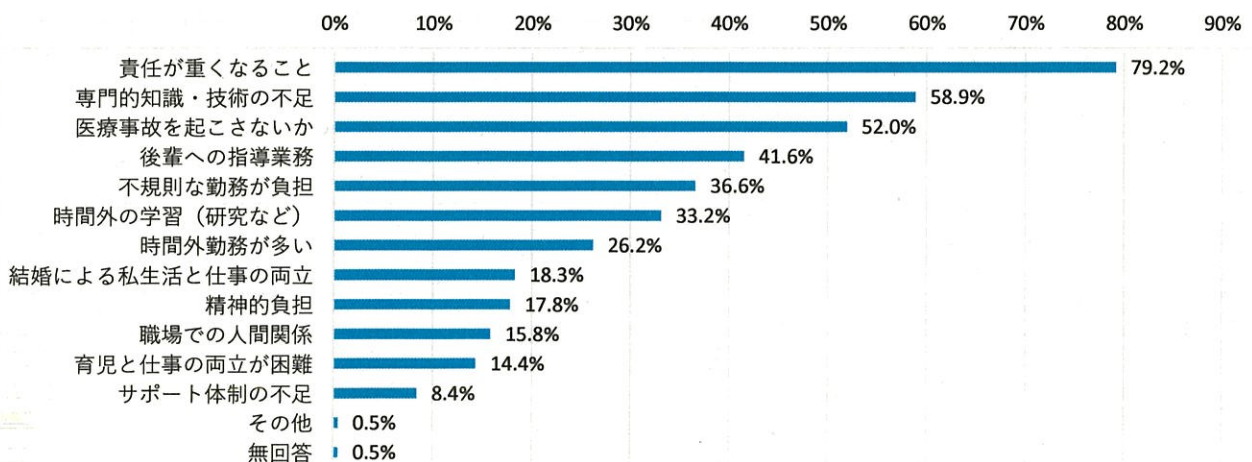
	人	
ある	202	97.1%
ない	5	2.4%
無回答	1	0.5%
合計	208	100.0%

→ その要因（複数回答）

n=202

項目	回答数	
責任が重くなること	160	79.2%
専門的知識・技術の不足	119	58.9%
医療事故を起こさないか	105	52.0%
後輩への指導業務	84	41.6%
不規則な勤務が負担	74	36.6%
時間外の学習（研究など）	67	33.2%
時間外勤務が多い	53	26.2%
結婚による私生活と仕事の両立	37	18.3%
精神的負担	36	17.8%
職場での人間関係	32	15.8%
育児と仕事の両立が困難	29	14.4%
サポート体制の不足	17	8.4%
その他	1	0.5%
無回答	1	0.5%
合計	815	

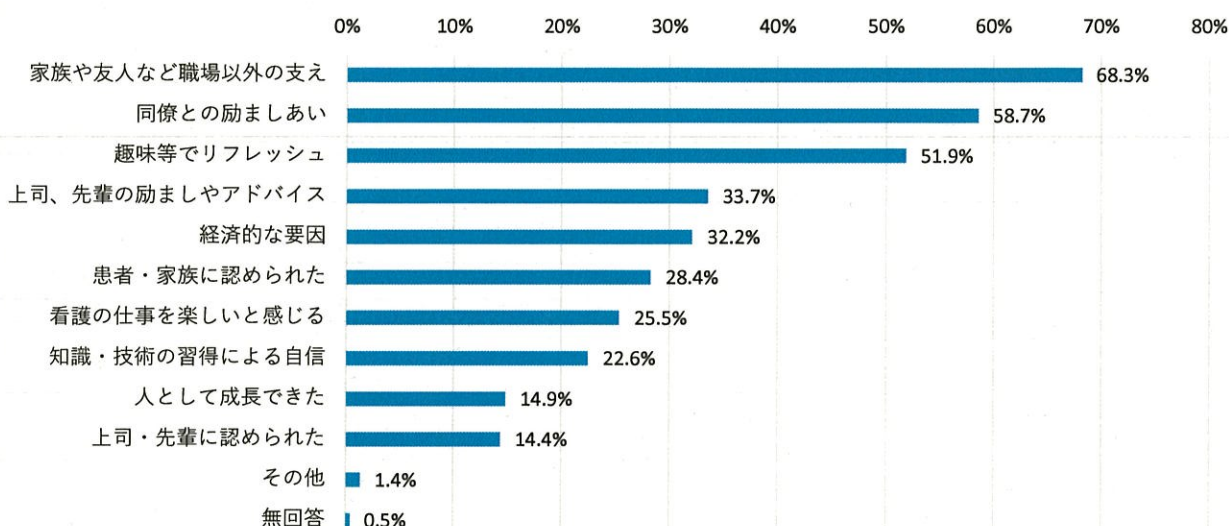
仕事を続けていくうえで感じる不安等



(2)これまで仕事を続けることができた要因(複数回答) n=208

項目	回答数	
家族や友人など職場以外の支え	142	68.3%
同僚との励ましあい	122	58.7%
趣味等でリフレッシュ	108	51.9%
上司、先輩の励ましやアドバイス	70	33.7%
経済的な要因	67	32.2%
患者・家族に認められた	59	28.4%
看護の仕事を楽しいと感じる	53	25.5%
知識・技術の習得による自信	47	22.6%
人として成長できた	31	14.9%
上司・先輩に認められた	30	14.4%
その他	3	1.4%
無回答	1	0.5%
合計	733	

仕事を続けることができた要因



(3)将来、看護職員としてキャリアアップしたいと思っている分野はあるか

	人	
ある	37	17.8%
ない	169	81.3%
無回答	2	1.0%
合計	208	100.0%

→ キャリアアップしたい分野 n=37

	人	
専門看護師・認定看護師	24	64.9%
大学院	2	5.4%
その他	11	29.7%
無回答	2	5.4%

【分野】

緩和ケア  
褥瘡等の皮膚へのケア  
摂食嚥下・訪問看護師  
創傷ケア、認知症ケア  
集中ケア  
在宅関係  
循環器関連

小児  
終末期看護  
手術室  
認知症  
検討中

【その他】

実習指導者  
褥瘡  
訪問看護師  
ケアマネや相談業務  
管理職  
周術期医療  
まだわからない